



### 中共病毒拡散 と共に第三次世界大戦が...

始まった危機感もなく、結果的にパンデミックのトリガーを引いたのは、中共ではなく、他ならぬ大呆け政権だった自覚がないままに、ダラダラと感染者の増大に手をこまねいている体たらくな政府と国民は、何とも嘆かわしい限りだ。骨の髄迄しゃぶられてもヘラヘラと相槌を打っているバカなエリートたちに、国家の確たるビジョン(展望)がないからに他ならない

マンガでわかる経済学  
中野剛志



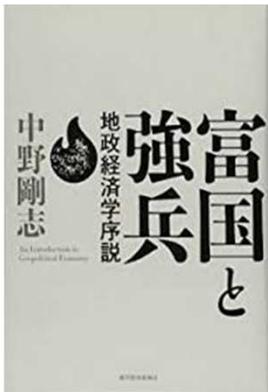
初詣は八方除けから始めよう



2021年の主役は...

本誌に時折登場する、Topセールスマン候補生の『枯れ木も山の賑わいセールス君が大活躍する時代』に入ったと云うことでもあります。鳴り物入りのTopセールスよりも、命を賭してでも生き残りにかける覚悟と行動こそが、戦いを勝利に導く...。精神・根性・魂論ではない。愚図な臍抜けには通じない崇高な精神は、日本人には伝えられる。そういう日本人が主役の年だ。

富国強兵 中野剛志



中共包囲網 ダイヤモンドネットワーク戦略構想 (たこの吸出し作戦)



シールド工法機



右だ・左だじゃない。国家の確たるビジョン(展望)を持つか否かは、真の保守か、偽なる反日かだ。これを看破すれば、真偽が詳らかになる。反日は、何人たりとも敵だ。反日国は敵国だ。2021年からは、戦時下での言行に徹し、敵は敵敵をかく乱・翻弄させ、(詐欺師を騙して身ぐるみはぎ取る手法を駆使して)遠慮会釈なく反日人物を炙り出し、糾弾・破砕していく。それも戦いだ。

2021年必読の書籍



汚い膿は  
たこの吸出し



国益を履き違えている人間は、自助に励み、国民を虐待することに快感を覚えている。過ちに気が付き乍らなし崩す愚図や、内外問わず拝金主義者も反日要員だ。

これを支える地中深くに起動するシールド機が『七人の侍プロジェクトの推進者』だと言う事だ。単なる自分の所得を3倍増にするためのショボい計画ではない。余命身近い人生にあっても後に続く人に期待すれば良いじゃないか。

腹の底からババポポーと叫ぼう！ メタボ腹からバブルや毒の噴き出し注意。

米国大統領選挙の結果がどうなるのか、1月20日の就任式に誰が立つのか今現在未定だが、バイデン側に立った殆どの外国米国マスメディアはじめ、米国内外のグローバリストである政・官・財のハイエナたちは、決して諦めないトランプ大統領の渋太心中、戦々恐々として居るだろう。「滅びを賭けてでも戦う勇気を持たなければ、永遠に負け続けるしかない」殺されても、不正、戦いは『必勝する』事になっている。目覚めた人が後に続くことを信じよう。「トランプがんばれ！」 敬愛すべきババポポーだ。

- <https://www.youtube.com/watch?v=tA1kzuW0VVE>
- <https://www.youtube.com/watch?v=j-C1DbeDv5g>
- <https://www.youtube.com/watch?v=7OeAHrsfy4s>

テキサスから内戦がはじまる？  
バイデンの「大統領の夢」は悪夢に変わる  
トランプ大:統:領が再選の兆し

- [https://www.youtube.com/watch?v=04Gsv9\\_K4Pw](https://www.youtube.com/watch?v=04Gsv9_K4Pw)
- <https://www.youtube.com/watch?v=buiVUTHNe00>

メディアは何を隠しているのか  
シドニーパウエル記者会見

- [https://www.youtube.com/watch?v=BgU4JC\\_AtYs](https://www.youtube.com/watch?v=BgU4JC_AtYs)

♪ 友よ ♪

新春早々に、国賊・反日・政商を、遠慮会釈なしに滅多切りにしましょう。真の保守の人も掲載します。